

平成 30 年度 千葉大学における動物実験等の実績

1. 飼養及び保管の状況

《動物種別飼養総匹数》

マウス (遺伝子組換え動物内数)	11,107 (7,141)
ラット	510
その他のげっ歯目	0
ウサギ	33
ブタ	0
イヌ	0
ニワトリ	5
ハト	59
その他の鳥類	1
爬虫類	1

※平成 30 年度に学内で行われた各実験計画について、平成 31 年 3 月末日時点で飼育している動物数等の調査を行なった結果をもとにしている。

※調査対象の実験計画は、他機関への委託実験や他機関での共同実験等も含むため、全てが千葉大学内で行われたものではなく、従って学外での飼育も含む。

※実験毎に管理をしており動物毎の管理ではないため、1 個体を複数の実験に用いる場合は個体数を重複して計上している場合がある。

2. 動物実験室及び飼養保管施設の申請・承認状況

《実験施設の申請・承認状況》

	H30 年度までに承認された施設数	H30 年度に廃止された施設数	H30 年度に申請があり承認された施設数 (内、新規設置施設数)	H30 年度の施設数 (H31.3.31 現在)
飼養保管施設	48	3	13(8)	53
実験室	117	4	5(1)	114
合計	165	7	18(9)	167

※「H30 年度に廃止された施設数」と「H30 年度に申請があり承認された施設数」には、それぞれ変更申請分を含む。

《主要な飼養保管施設の名称》

- ・大学院医学研究院附属動物実験施設（マウス、ラット、ハムスター、モルモット、ウサギ、イヌ、ブタ、ニワトリ、カエル）
- ・大学院薬学研究院実験動物飼育室（マウス、ラット、ハムスター、モルモット、ゼブラフィッシュ）

3. 動物実験計画書の申請・承認状況

《実験計画の申請・承認数》

回・月	申請数	内 訳							備考
		修正なし 承認件数	修正意見 付与件数	委員から の意見数	修正後の 承認件数	審議中	不承認	取り下げ	
第1回(4月)	15	0	14	39	14	0	0	1	
第2回(5月)	13	4	9	15	9	0	0	0	
第3回(6月)	11	1	10	12	10	0	0	0	
第4回(7月)	12	0	12	14	12	0	0	0	
第5回(8月)	10	0	10	18	10	0	0	0	
第6回(9月)	17	0	17	20	17	0	0	0	
第7回(10月)	16	0	16	31	16	0	0	0	
第8回(11月)	6	1	5	11	5	0	0	0	
第9回(12月)	211	33	177	495	177	0	0	1	
第10回(1月)	140	16	123	445	123	0	0	1	
第11回(2月)	6	1	4	44	4	0	1	0	
第12回(3月)	2	0	2	3	2	0	0	0	
合計	459	56	399	1147	399	0	1	3	

※平成30年度の申請数には、平成31(令和元)年度実施予定分の計画書件数を含む。

※委員からの意見数については、第1稿に対する意見の数を計上。平成31(令和元)年度実施予定分より新様式での申請となり、それに伴い第9回より意見した審査委員の人数ではなく意見の出た欄数を「意見数」として計上するよう変更した。

《参考》

	申請数	内 訳							備考
		修正なし 承認件数	修正意見 付与件数	委員から の意見数	修正後の 承認件数	審議中	不承認	取り下げ	
平成29年度	481	85	388	596	388	0	0	8	
平成28年度	476	169	304	533	304	0	0	3	

《申請部局別件数》

部 局 名	件数	備 考
国際教養学部	1	
大学院人文科学研究科	6	
教育学部	3	
医学部附属病院	65	
大学院理学研究院	16	
大学院工学研究院	3	
大学院園芸学研究科	12	
大学院看護学研究科	2	
大学院医学研究院	204	取下げ2件
大学院薬学研究院	46	取下げ1件
真菌医学研究センター	33	
海洋バイオシステム研究センター	1	
フロンティア医工学センター	14	
バイオメディカル研究センター	2	
社会精神保健教育研究センター	43	
予防医学センター	3	
環境フィールド科学センター	1	
総合安全衛生機構	4	
合 計	459	取下げ3件

《特殊実験区分に該当する件数》

実験区分	件数	備考
感染実験	48	
遺伝子組換え動物使用実験	217	取下げ2件
放射性同位元素・放射線使用実験	47	
化学発癌・重金属実験	5	

《教育訓練実施状況》

(1) 日時・場所・参加人数

オンライン形式	千葉大学 Moodle2018	平成 30 年 4 月 9 日(月)9 時 ～ 平成 30 年 9 月 20 日(木)17 時	1164 名
		平成 30 年 10 月 1 日(月)9 時 ～ 平成 31 年 3 月 20 日(水)17 時	169 名
合計			1333 名

(2) 対象者

哺乳類、鳥類、爬虫類のほか、両生類、魚類、昆虫等も含む全ての動物種（研究用微生物に該当するものは含まない）の実験・飼養に携わる者

(3) 講師

伊勢川 直久（医学研究院・准教授、千葉大学動物実験委員会委員）

(4) 内容

○オンライン形式

- ・関係法令・規程、動物実験等、実験動物の飼養及び保管、安全管理に関する説明
- ・関係法令・規程、動物実験等、実験動物の飼養及び保管、安全管理に関するテスト

4. 動物実験委員会委員構成について

平成30年4月1日現在

動物実験委員会 規程区分	所属部局	専門分野	備考	基本指針区分
第1号委員	理事(研究担当)	生物工学		A
第2号委員	教育学部	昆虫学		A
〃	理学研究院	分子細胞生物学		A
〃	工学研究院	生物工学		A
〃	園芸学研究科	化学生態学		A
〃	看護学研究科	機能・代謝学		A
〃	医学研究院	実験動物学		A
〃	薬学研究院	免疫学 生化学		A
〃	真菌医学研究センター	免疫学		A
第3号委員	医学研究院	発生工学 分子細胞生物学		B
〃	薬学研究院	細菌学		B
第4号委員	副学長 (国際・研究担当)			C
第5号委員	研究推進部	—		C
〃	(学外委員)	実験動物学 実験動物医学 比較医学 動物実験の倫理		B
〃	(学外委員)	実験動物学 獣医病理学		B

動物実験委員会規程区分（「国立大学法人千葉大学動物実験実施規程」一部抜粋）

- 一 研究担当理事
- 二 教育学部，園芸学研究科，看護学研究科，理学研究院，工学研究院，医学研究院，薬学研究院及び真菌医学研究センターから選出された動物実験等に関して優れた識見を有する教員 各1名
- 三 医学研究院及び薬学研究院から選出された実験動物に関して優れた識見を有する教員 各1名
- 四 その他学識経験を有する者 若干名
- 五 その他学長が必要と認めた者

基本指針区分

- A 動物実験に関して優れた識見を有する者
- B 実験動物に関して優れた識見を有する者
- C その他学識経験を有する者